

部目標	国内では、高齢社会と人口減少が急速に進行しており、各自治体がその課題克服に向けた取組みが求められる中であって、各部政策推進室との政策調整を行い各部局が一体となった統一的な意思形成を図るとともに、総合政策機能を生かしたまちづくりを進める。 市民の意見や提言を市政に反映し、市政に対する市民満足度を向上できるよう広報・広聴機能の充実に努める。 「みんなが住み続けたいと思えるまち」を基本理念に、京田辺に住む人の生活の質を向上させ、時代の変化に対応した新たな都市づくりを進める。
-----	--

課	目標
企画調整室	国内では、高齢社会と人口減少が急速に進行しており、各自治体がその課題克服に向けた取組みが求められる中であって、各部政策推進室との政策調整を行い各部局が一体となった統一的な意思形成を図るとともに、総合政策機能を生かしたまちづくりを進める。
秘書広報課	市民の意見や提言を市政に反映し、市政に対する市民満足度を向上できるよう広報・広聴機能の充実に努める。
都市みらい室	「みんなが住み続けたいと思えるまち」を基本理念に、京田辺に住む人の生活の質を向上させ、時代の変化に対応した新たな都市づくりを進める。

課名	事業名	事業概要	今年度の目標	指標	単位	目標値	達成率	指標設定の考え方
都市みらい室	文化施設整備事業	複合化・多機能化を目指して、文化施設を核とした新たな複合型公共施設を整備。中央公民館、中央図書館の後継施設として、ホール・生涯学習・図書館機能のほか、行政サービス、コミュニティ関連などの新たな機能を付与。民間活力の導入を積極的に推進	複合型公共施設について以下の検討を行い、基本構想を取りまとめる。 ・基本方針と導入機能の検討・需要予測と規模の検討 ・事業手法の検討 等	計画策定	—	基本構想検討	—	複合型公共施設の基本構想を取りまとめる
都市みらい室	田辺中央北地区新市街地整備促進事業	組合施行の土地区画整理事業を促進し、商業、業務、文化、行政サービスなどの多種多様な都市機能が集積した新市街地を形成	主要な都市基盤施設の基本設計を行い、整備手法をはじめ組合施行の土地区画整理事業における取扱いを検討するとともに、地権者の意向把握や勉強会の開催、立地企業の需要調査を行い、事業計画のたたき台となる事業フレームを作成する。	組合施行の土地区画整理事業の事業化	—	組合設立支援	—	R3年度の組合設立認可に向けて、事業計画（案）を取りまとめる
都市みらい室	新田辺駅東地区まちづくり促進事業	駅前広場や安全・安心な歩行空間の整備及び商業施設などの活性化による生活利便性の高い市街地再整備の促進	面的整備（市街地開発事業）に関する地域住民等の合意形成に向けて取り組むとともに、基本計画作成のため、面的整備（市街地開発事業）と一体的な整備を踏まえた都市計画道路や駅前広場について、将来的な都市計画変更も視野に入れて基本設計を行う。	市街地開発事業の事業化	—	合意形成支援	—	地権者の合意形成に向けて、駅前広場等と一体となった面的整備の事業フレームを作成する

課名	事業名	事業概要	今年度の目標	指標				指標設定の考え方
					単位	目標値	達成率	
企画調整室	学研都市建設等促進事業	関西文化学術研究都市の建設を進めるため、関係協議会・機関と連携を取り、未着手クラスターである南田辺西地区、南田辺東地区の整備を促進。市民向けのイベントなど学研都市と連携したまちづくりを推進	○京田辺・精華・木津川学研都市行政連絡会 ・中央省庁等に対して政策提案活動を実施する。（8月に2回） ○けいはんな学研都市活性化促進協議会 ・活性化促進協議会と連携し、プチコンサートin京田辺を開催する（9月or3月） ○その他 ・南田辺西地区の整備について、早期着手に向け協議を行う。	政策提案活動実施回数	回	2	0%	国・府に対して、年2回の政策提案活動を実施する。
				活性化イベント参加者延べ人数	人	6,700	0%	過去3年間の平均実績（6,500人）に照らし、増加を目指す。
企画調整室	北陸新幹線整備促進事業	北陸新幹線の早期整備を促進するために、府を中心に関係機関と連携した建設促進に係る活動を展開。府立田辺高等学校による「北陸新幹線ミニ鉄道」の運行支援などPR活動の展開	北陸新幹線の早期整備を促進するために、府を中心に関係機関と連携した建設促進に係る活動を行う。京都府を中心とした関連機関と連携した建設促進に係る活動を随時実施するとともに、田辺高校と連携し、北陸新幹線ミニ鉄道を活用したイベントを開催する。	連携PRイベント数	回	2	0%	過去の実績と同水準の実施を目指す
				連携PRイベント参加人数	人	1,000	0%	過去の実績により、1イベントあたり500人（×年2回）の参加を目指す
秘書広報課	広報広聴事務	SNSの活用、広報紙リニューアル、ホームページなど多様な媒体を活用した情報提供と意見収集。出前講座や市長と市民の直接対話による広聴活動。「映（ば）える」スポット、モノなどまちの魅力を発信	多様な方法で市民ニーズを把握・分析、全庁で共有し、市政に反映する。市の施策やまちの魅力を積極的に広報することで、市の将来展望を市民と共有するとともに、市民のまちづくりへの意識やシビックプライド、一体感を向上させる。	SNSのフォロワー数	件	3,400	0%	R5に約4,000人を目指し、前年度実績（R1：3,289人）を上回るフォロワーの獲得を目指す
				広報紙プレゼントクイズの応募件数	件	700	0%	広報紙リニューアルにより読者を増やし、前年度実績（R1：696件）以上のレスポンスを目指す
				市民みらいミーティングの開催回数	回	12	0%	現状と同程度の、おおむね月1回程度の開催を目指す
企画調整室	第4次総合計画まちづくりプランレビュー	限られた財源を効率的かつ効果的に活用するため、まちづくりプランのレビューを実施し、重点プロジェクトなどの実効性のある進捗管理を推進	第4次総合計画の進捗管理のために、重点プロジェクト等の取組み状況について、8月頃を目処に、まちづくりプランレビューを実施する。（今年度はR3からの本格実施に向けた試行）	重点プロジェクト対象事業の目標達成状況	%	100	0%	重点プロジェクト対象事業の目標について、100%の達成を目指す
企画調整室	行政改革推進事業	新たな行政改革実行計画に基づき、「行政経営改革」と「財政健全化」を推進。市民との協働、質の高い行政サービス、効率的な行財政運営などに取り組むもの	行政改革実行計画（令和2年度～令和5年度）を総合的かつ組織的に推進していくため、行政改革推進本部会議において、進捗状況や成果を把握しつつ進行管理を行う。	行政改革実行計画に掲げる事業の達成状況	%	100	0%	行政改革実行計画の事業に掲げる行動計画について、100%の達成を目指す
企画調整室	公共施設マネジメント推進事業	公共施設などの総合的かつ計画的な管理の推進、PPP・PFIなどの民間活力導入に向けた検討	民間の活力やノウハウを活用し、効率的で質の高いまちづくりを進めるために、令和2年度中に、PPP／PFIの優先的検討規程（指針）を策定する。	PPP／PFIの優先的検討規程の策定	—	策定	—	R2年度中の策定を目指す